

病害虫発生予察指導情報

(ナシ・ニセナシサビダニ No.4)

令和7年6月16日
鳥取県病害虫防除所

1. 情報の内容

6月中旬現在、ニセナシサビダニの発生量は平年に比べて多い。

2. 情報の根拠

- (1) 6月中旬現在、県予察ほ場（園芸試験場、殺ダニ剤無散布）におけるニセナシサビダニの葉当たり個体数は2049.2頭（平年：688.0頭）で、平年に比べて多い（表1）。
- (2) 向こう1か月の気象予報から、発生盛期は平年並の7月上旬頃（平年6月下旬～7月上旬）と見込まれる。

表1 ニセナシサビダニの発生活消長（園芸試験場、殺ダニ剤無散布ほ場）*

月・旬	本年**	平年***
5・上	5.6	29.5
5・中	22.6	59.5
5・下	626.2	256.6
6・上	268.0	644.6
6・中	2049.2	688.0
6・下		836.7

*：殺ダニ剤無散布ほ場、1葉あたり寄生個体数（3樹10葉調査）

**：R3年度より調査樹を変更

***：平年値は過去7年（H30年～R6年）の調査結果から算出

3. 防除上注意すべき事項

- (1) 密度増殖が著しい種（ハダニ類、サビダニ類など）は、発生初期の防除（初期密度の低い時点での防除）が重要である。また、ニセナシサビダニ被害の多少は新梢停止期の早晚の影響が大きい。
- (2) 新梢の停止期が遅く、ニセナシサビダニの被害が増加するような場合は追加防除を行う。